

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果をふまえて

豊田市立小原中部小学校

4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果から、本校6年生全体の状況及び今後の指導改善の取組についてお知らせします。この調査の目的は、児童の学力・学習状況を把握し、一人一人の学習意欲の向上や学習内容の定着に役立てることにあります。個人票を配付していますので、お子さんの得意なこと、不得意なことを知り、学習に意欲がもてるような励ましをお願いします。

なお、この調査で測定した力は、学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面としてお考えください。

教科に関する調査の結果

教科の状況を全国と比較して「大変よくできている」「おおむねできている」「努力を要する」の3段階で表しています。また、それぞれの教科における優れている内容と課題を紹介します。

< 国 語 >	< 算 数 >
努力を要する 【こんなところできています】 - 文章を読んで理解し、自分の経験と結びつけて書くことができています。 - 資料や文章の中から必要な内容を選び出し、自分の考えをまとめることができる。 【こんなところが課題です】 - 文章に書かれている考えと、その根拠となる理由や具体例とのつながりを読み取ること。 - 漢字を文の中で正しく使う。 - 文章の中で使われている表現の工夫や、その工夫によってどのような気持ちや様子が表されているのかを読み取ること。	努力を要する 【こんなところできています】 - 体積の意味について理解ができています。 - 基準量、比較量、割合の関係が理解ができています。 - 二つの表から条件にあう数の読み取りができる。 【こんなところが課題です】 - 分数の学習において、「1」を基準として分数の大きさを捉えること。 - 箱の形を構成する面の数や位置関係を捉えること。

子どものこんな学びを目指します

【国語では】 - 言葉や理由、具体例に着目しながら読む活動を増やします。 - 漢字の読み書きの定着に力を入れていきます。	【算数では】 - 具体物や図を使いながら理解を深めていきます。 - デジタルドリル教材 Qubena を活用し、個別最適な問題を解く活動を増やします。
---	--

学習および生活状況に関する質問紙調査の結果

学習・生活習慣等の質問紙調査から分かった本校の状況を紹介します。

* 全国と比べて、「よい傾向にあること」「課題が顕著なこと」を紹介します。

<生活>

【こんなところがよい傾向です】

- 毎日同じくらいの時刻に起きたり寝たりしている。
- 将来の夢や目標を持っている。
- 自分にはよいところがあると思う。
- 人の役に立つ人間になりたい。

【改善したい傾向】

- ・家で宿題以外に、自分で計画を立てて勉強する。
- ・本を読んだり、借りたりするために、図書館に行く。

<学習>

【こんなところがよい傾向です】

- 算数の学習が好きである。
- ICT機器を活用し、情報を集めたり、整理したりすることができる。また、ICT機器で文章を作成することもできる。

【改善したい傾向】

- ・学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる。

<質問紙調査から>

- ・家庭でよい生活習慣が身に付いており、自己肯定感も高く将来の夢や目標を持つことや人の役に立人間になりたいという意識の高さがうかがえました。
- ・ICT機器の活用慣れているため、学習用の一つの道具として、有効に活用する力が身に付いています。



こんなことに取り組みます

- ・「おばらすこやかウィーク」等を使って、家庭での過ごし方や家庭学習の時間・内容の見届けを行っていきます。
- ・授業では、理由を示して自分の考えを発表するように指導していきます。
- ・各教科において、話し合いの場を増やし、話し合ったことをもとに学びに生かす機会を作っていきます。



ご家庭でのお子さんの様子について、考えてみませんか

この分析結果をもとに、本校では授業を中心に、改善に向けての取組を進めています。普段からお子さんのよさを認めることで、お子さんの自己肯定感や、難しいことにも挑戦しようという意欲が高まります。保護者の皆様には、お子さんの学習習慣や生活習慣の定着に向けて、温かい励ましをお願いいたします。